

「こうずら ほうずら」は市民のみなさんでつくるページです。
 市政や広報に対するご意見や身近な話題など、どんどんお寄せください。
 宛先 ● 〒394-8510 岡谷市役所(住所不要) 広報情報課広報広聴(内線1366)

こえ

2月の
てがみから

▲は広報広聴担当より

夏の間は、諏訪市の職場まで湖周サイクリングロードをママチャリで通勤していましたが、この時期はさすがにマイカーだのみになつてしまします。

この寒いなかでも、地元の高校生たちは元気に自転車通学しています。さつそうとペダルをこぐ姿を車中から見ると、自分ももう少し頑張れないかなあ〜なんて思つこのごろです。

(大栄町1) T・Hさん

▼寒かったり、雪が降ったり…で、冬場は自転車敬遠してしまいがち。車という手段があればなおさらですね。高校生のがんばる姿には勇気をもらいますが、なかなかまねはできません。でもいよいよ

3月。徐々に暖かくなりますから、天気を見ながら少しずつ身体を慣らして、再びママチャリサイクリングを楽しんでください。

諏訪地方は、春から御柱一色で、地域が盛り上がりますね。景気の方もいくらかでも上向きになることを願いつつ、春を待ちわびています。

(川岸西2) K・Hさん

▼諏訪人の血を沸きたたせる「御柱祭」が、巡ってきましたね。春の諏訪大社にはじまり、秋には小宮ほかの御柱も市内でにぎやかに繰り広げられます。力を合わせてえ、お願いだ〜♪…この熱気で、なんとか景気を押し上げたいものです。よいさー!

1歳3ヶ月の娘に毎日ふり回されています。歩き始めたのですが、今は外が寒くて思つように外歩きができません。

春になつたら公園などと思ひっきり遊ばせたいと思っています。

(赤羽3) M・Mさん

▼「春よ来い」の歌のようですね。春のぼかばか陽気のなかで公園デビューをして、夏に向けてどんどん活発になっていく娘さんのかわいらしい姿が目につかぶようです。もうしばらく、カゼなどに注意して、春を待っていてください。



市民レポーターだより

宮坂慎三さんの

おかやよいとこ探し

パート五五

まけないぞ!

その意気元氣な岡谷の子

脇道の残雪を横目で見ながら今日も散歩に出かけている。街も人も静かに時が通り過ぎるのを見送るこのごろ。

どこからともなく御柱祭の木やり歌が流れてくると、ほのぼのとした気分を感じさせてくれる。この時期、明るく元氣な児童の声が待ちどおしい。そこで今回は、岡谷の子どものたちの現況を市教育委員会子ども課の松村佳江主幹に聞きました。

「現在、岡谷市の0歳から18歳までの児童数は約9300人で、子どもたちの発育過程におけるさまざまな支援業務(健診、母子保健、育児、地域との関わりなど)は多岐にわたっている。困ったときはひとりで悩まないで、まず相談をしてほしい。多様化している現代社会のなかで、子どもたちが未来の夢と希望をもてるように支援していきたい。」と話されました。

来年度からの事業で「乳幼児等医療費給付事業」の対象を小学校6年生まで引き上げ、入院・通院の医療費を無料化にすること。不登校対策である「子ども教育支援相談員」「統括相談員」を設置すること。「放課後の子ども居場所づくり事業」は、平成23年度に全小学校での実施をめざすなどがある。また、来年度からは、第2次岡谷市児童育成計画がスタートする。第4次岡谷市総合計画の重点目標のひとつにある「輝く子どもの育成」が推進されることを願う。

終わりに、岡谷市には平成14年に制定した「おかや子育て憲章」があることをご存知だろうか。

おかや子育て憲章

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

いまだ寒さが厳しい折、お互い健康管理を十分にしながら乗り越えよう。

気合入れ

一歩ふみだし 春を呼ぶ

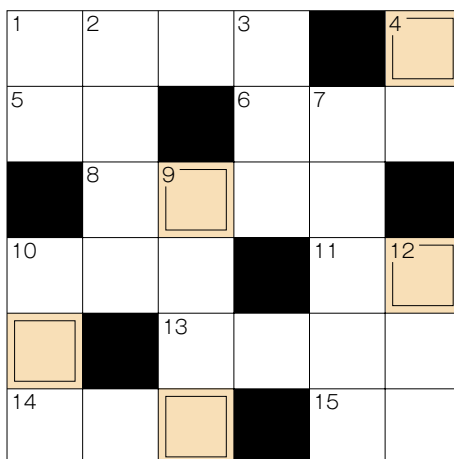
広報クイズ No.291

クロスワードパズル

問題

二重枠の文字を並べ替えると岡谷に係のある言葉ができます。それを答えてください。

正解者の中から抽選で5名にロマネット入浴券をお送りします。



◆ヨコのカギ

- 1 諏訪湖を一望する高台にある城跡。
○○○○公園
- 5 ♪われは湖の子さすらひの～～
○○の都よいざさらば
- 6 団塊、バブル、ゆとり、など。新、次、なども
- 8 携帯電話やノートパソコンなど、
○○○○機器
- 10 市木
- 11 弓のあたるところ
- 13 災いの箱を開けてしまったギリシャ神話の女性
- 14 ○○○をねえ！ 岡谷はドッジボールかな
- 15 ○○転変

◆タテのカギ

- 1 丸山、天竜、釜口、観蜚など
- 2 ギンギンと音を立てて練り歩きます
- 3 地球と木星の間にあります
- 4 諏訪湖には大物がいるとか
- 7 2月に、ある縁起物を焼いて供養するお祭りがありました
- 9 岡谷ICから長地につながる20号○○○○
- 10 湖や海が陸地に入り込んだ部分
- 12 ラグビーで5点もらえます

●応募方法…はがきに答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を明記し、ひと言（市政や広報に対するご意見や身近な話題など）をそえて「〒394-8510 岡谷市役所（住所不要）広報クイズ係」までお送りください。3月10日必着。（ひと言は「こえ」に掲載させていただく場合があります）

●前回（2月号）の答えと当選者 「だるままつり（だるま祭り）」

正解数50通（応募総数50通）の中から抽選で、R・Kさん（加茂町2）、M・Nさん（田中町1）、N・Mさん（長地柴宮1）、R・Mさん（川岸東4）、Y・Oさん（長地柴宮2）にロマネット入浴券をお送りします。



世界 de Go! 岡谷市国際交流協会だより

www.oiea.jp Tel.24-3226 Fax.24-3229 oiea@oiea.jp



今回は、メルヴィン・サラザー（岡谷市国際交流員）の活動報告です。



わたしはこの時期、国際交流員の活動の一環として、市内の保育園、幼稚園、小学校を訪問しています。園児数が100人にもなる幼稚園では、交流するのが大変ですが、反面元気いっ

ぱいで盛り上がります。

毎回、まずは自己紹介をして、簡単な英語のあいさつやフィリピンのことを教えます。フィリピンには冬がなく、全く雪が降らないと話すと、子どもたちはいつも、ビックリします。

日本ではなじみのないゲームをしたり、歌やダンスを楽しんだりもします。

この間はみんなで、フィリピンの伝統的なバンブーダンスに挑戦しました。はじめに先生にステップを覚えてもらい、次に先生とわたしで、子どもたちに教えました。竹の棒に足をはさまないように跳ぶのがむずかしそうと感じていた子どもたちも、実際に体験してみると、竹をたたくりズムに乗り楽しんでいました。

それから、動物や色がたくさん出てくる海外の絵本の読み聞かせを行い、最後は、わたしへの質問タイムとしました。よく聞かれるのは、好きな食べ物や好きな動物なのですが、時には、彼女はいいますか？という質問まで…。



多くの子どもにとって、わたしの訪問は、外国人と接する初めての経験かもしれません。外国人も日本人と変わらない、違うところもたくさんあるけれど、共通する部分もいろいろあること、お互いの違う部分を理解することが、より良い社会を作る



ことにつながるのではないかと伝えていたですね。

小さな子どもたちが、わたしとふれあったことで、少しでも国際交流を感じてくれたらうれしいです。